

新しい高齢者像における認知症のBehavioral and Psychological symptoms of dementia (BPSD)に対する非薬物的介入



講師
占部 美恵

① 共同研究・産学連携への意気込み

団塊の世代が全員後期高齢者になる2025年以降、日本では新たな認知症ケアが求められ、高齢者を対象にした様々な商品においても同様と考えます。認知症の方が自分らしい人生を送れるよう共同研究できましたら嬉しく存じます。

② 想定される連携先・移転先

IT・通信関連企業
介護施設、有料老人ホーム、訪問看護ステーションなど

キーワード

認知症、BPSD、非薬物的介入、団塊の世代

研究内容

認知症の行動・心理症状（BPSD）に対して、時代によって変化する社会や高齢者の状況に合わせた非薬物的介入の開発を目指しています。

今まで、認知症高齢者のポジティブな情動を活用した非薬物的介入として、音楽療法・回想療法を実施してきました。コロナ禍や2025年問題など、ここ数年で時代や社会が大きく変化していています。その変化に応じた従来とは異なる認知症高齢者のケア、特にBPSDへの非薬物的介入の開発が、研究の次のステップとして取り組んでいます。

